

地域に根付く さとかがら 里神楽

古くから地域に根付き、今も市内各地の神社で伝承されている里神楽。誰もが一度は聞いたことのある神様も登場する親しみやすい伝統芸能です。里神楽の魅力を知り、お近くの神社へ見に行ってみませんか？

圃文化・生涯学習課 TEL20-7500 FAX22-2637

里神楽ってなに？



日本最古の芸能

里神楽は、春に五穀豊穡を祈り、秋に豊作を神々に感謝する心から生まれた日本最古の芸能。その起源は、古事記に記されています。

全国各地で伝承される中で、能や歌舞伎ができたと言われてきました。

日本神話を題材とした舞がある

里神楽は、笛と太鼓のお囃子に合わせ、日本神話を題材とした物語を演じます。

演目には、あまのいわと天岩戸に隠れたあまてらすおおみかみ天照大御神を外へ招き出す物語や、すさのおのみこと素戔嗚尊がやまたのおろち八岐大蛇を退治した物語など、有名な物語も多くあります。



里神楽の魅力



里神楽の魅力は どんなところ？

神様と人間が共に楽しむところが一番の魅力です。里神楽は、神聖でかしまったものというイメージを持つ人もいます。しかし「神」に「楽しむ」と書いて「神楽」と読むように、人間も神様も一緒に楽しむ芸能なのです。ぜひリラックスして見てください。お囃子に耳を傾けると、演目によってリズムが変わることに気が付きます。ひょうきんな場面では、声を出して笑っても良いのです。



里神楽の楽しみ方は？

演目の題名を知り、その物語の内容を想像しながら舞を見ると、どんな神様がどのような場面を表現しているのかわかることができ、楽しさが格段に増します。

同じ演目でも地域によって題名や伝わる所作が違うところも面白いです。里神楽は見れば見るほどに奥深く、飽きることはありません。

インタビュー



こんどう きよし
近藤 清さん

三島神社 宮司



里神楽を見に行く ときの準備は？

里神楽を見るときは、神社のお祭りの日がほとんどです。おはらいのように神様の前に座る訳ではないので、普段着で見に来てください。また、カメラなどで神話の世界を大いに撮影してください。餅をまく演目もあるので、持ち帰り用の袋もあると良いですね。



どんな舞があるの？

演目紹介

みやきよ 宮清



一番初めに必ず舞う演目です。神様に祈るときにささげる供え物「ヌサ」を持って舞い、心身のけがれを清めます。

たいつりまい 鯛釣り舞



ひるこ蛭子や恵比寿舞ともいう縁起の良いおめでたい舞です。この演目で登場する神様は、釣りが好きで、試行錯誤しながら鯛を釣る姿はつつい応援したくなります。

ヌサ



心身のけがれを、はらい清める

とりもの 執物

PICK UP

執物とは、神楽などの神事芸能で舞を舞う人が手に持つ物の総称です。

鈴



魔除けや神様を招きよせる時に使う

面



舞に登場する神様を形取るためのもの

ぞうぎたいほう 造杵大宝



餅つき舞や万歳楽ともいいます。登場する二柱の神様による質問と応答によって、それぞれの神様の生い立ちや持ち物の由来などが明らかになります。最後に、平和を祝い、餅をまく場面も楽しみの1つです。

里神楽の伝承



インタビュー



はせがわ たかし
長谷川 孝志さん

物部神社神楽舞保存会 会長

—里神楽の伝承で大切なことを教えてください。

里神楽は昔から地域に伝わる伝統文化の一つであり、神社に来た人に楽しんでもらうことが大切です。里神楽を奉納する私たちも、正しく伝承する意識を高く持ち、日々技を磨くことを大切にしています。

—里神楽は特別な人しかできないのですか？

「やってみたい」という気持ちがあれば、性別や年齢を問わず誰でも大歓迎です。舞だけでも良いですし、舞うことが苦手な人は笛や太鼓のみでも良いです。舞を引き立てる笛や太鼓も里神楽を伝承する中で非常に大切なものです。

—里神楽を舞ってみたいと思ったらどうすればいいですか？

住んでいる地域の神社へ行き、宮司さんに里神楽の練習日を聞いてみてください。里神楽を舞わない神社もあると思いますが、宮司さんに相談すると、里神楽ができる神社を紹介してもらえます。まずは見学だけでも良いです。神社に行くと宮司さんと話すことは勇気がいるかもしれませんが、こちらはいつでも待っています。一緒に楽しく練習しましょう。

二田小学校伝承舞クラブの皆さん

二田小学校伝承舞クラブは、平成12(2000)年に誕生。物部神社神楽舞保存会の方々から指導を受け、練習に励んでいます。

校内学習発表会の他に、柏崎・刈羽里神楽上演会や草生水まつりなどの舞台にも立ちます。



練習で学んだ舞を人前で披露すると達成感を感じ楽しいです。お客さんの拍手が力となって、新しい演目にも挑戦したくなります。

練習は楽しくて、できることが少しずつ増えていくことがうれしいです。

クラブの仲間は優しく、舞の先生は丁寧に教えてくれます。楽しく練習しています。

ひかり
杉田 光さん (5年生)

あやこ
花井 綾子さん (6年生)

ゆづき
長谷川 優月さん (5年生)

見に行ってみよう!

里神楽 MAP

市内で里神楽を奉納している神社は今もたくさんあります。
脈々と受け継がれたきた伝統芸能を、ぜひ見てみてください。

